

牛久：学校周辺に見る自然

第20号 千葉県旭市（旧飯岡町）

2016年1月4日発行

＜ 謹賀新年 世界中すべての子どもたちが幸せな一年を送れますように ＞

みなさん、明けましておめでとうございます。今年は、故郷飯岡の初日の出の写真を届けることができました。ただし今年は、家のすぐ下の浜は、砂浜の景観も、そこに住む動植物たちも、私たち人間も海と分断するかのような巨大な防潮堤建設工事のため通りぬけることができず、だいぶ遠まわりをして海岸へ降りました。



故郷、飯岡の初日の出。 2016.01.01

波打ち際は、いつものようにウミネコとユリカモメがエサを探し砂をつついていました。また、津波で流されたものなのか大きな流木がいつもより多く転がっていました。クルミの実もたくさん落ちていましたが、このクルミはどこから流れてきたと思いますか？機会のあるときに、お話ししましょう。



波打ち際でえさをつつくウミネコとユリカモメ(左)。



砂浜に流れついたクルミ(右)。

岸に近い方では、草むらの中にテリハノイバラの赤い実が朝陽に照らされてキラキラと輝いていました。そして林のふちには、マサキの赤い実が鳥たちを誘うようにぶら下がっていました。

さて、最後にまた問題です。写真の月は日の出と同時刻にとりました。この月はどの方角に見えていたでしょうか？6年生なら、分かるはず？？？ですね。

【理科支援員：宮内】



赤く輝くテリハノイバラの実(左)。



鳥のごちそうの赤い実をぶら下げるマサキ(中)



同時刻に見られた月(右)。